

2 出 生

(1) 出生数及び出生率

出生数は17,240人で前年の17,233人より7人増加し、出生率（人口千対）は8.7で、前年の8.7と同率であった。

出生率を年次推移でみると、昭和48年の19.3から減少を続け、平成7年以降9点台で前年比増減を繰り返した後低下していたが、平成18年に8.9に上昇した。しかし、前年に引き続き、本年も8.7で低下している。

(2) 都道府県別にみた出生率

都道府県別に出生率をみると、本県の8.7は全国で17位であり、全国の8.7と同率であった。出生率の最も高い都道府県は沖縄県の12.2で、次いで愛知県の9.9、滋賀県の9.8となっている。また、最も低い都道府県は秋田県の6.7で、次いで青森県の7.3、北海道の7.4となっている。

3 死 亡

(1) 死亡数及び死亡率

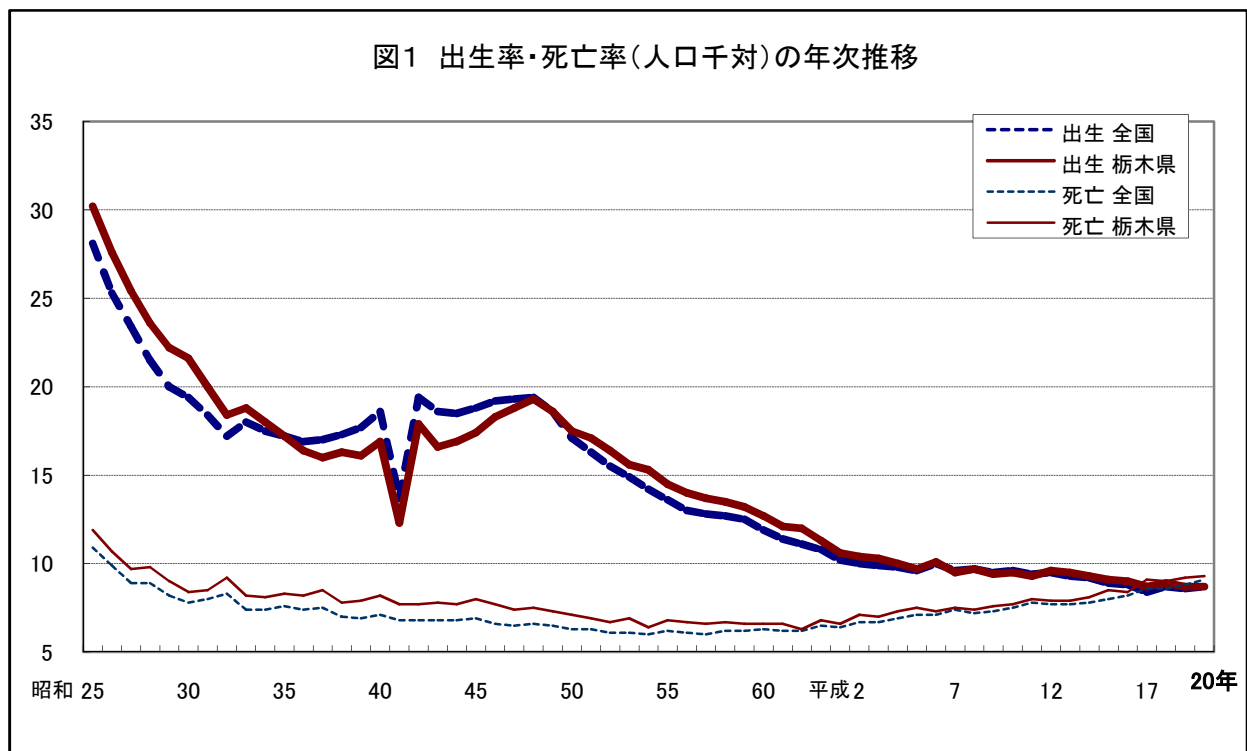
死亡数は18,437人で前年の18,184人より253人増加し、死亡率（人口千対）は9.3で前年の9.2を0.1上回った。

死亡率を年次推移でみると、昭和62年に過去最低の6.3まで低下した後、前年比増減を繰り返しながらゆるやかに上昇しており、本年も9.3と上昇した。

(2) 都道府県別にみた死亡率

都道府県別に死亡率をみると、本県の9.3は全国で33位であり、全国の9.1より0.2上回った。

死亡率の最も高い都道府県は島根県の12.5で、次いで秋田県、高知県の12.3となっている。また、最も低い都道府県は沖縄県の6.9で、次いで神奈川県7.3となっている。



資料：人口動態統計